

日本内分泌病理学会理事会 議事録

日時：2015年10月23日（金）15：00～17：30

会場：アバンセ、第三研修室

出席者：山田正三 理事長、笹野公伸 副理事長、島津 章、方波見卓行、屋代 隆、
成瀬光栄、加藤良平、戸田修二、吉本勝彦、田辺晶代、岡本高宏、近藤哲夫
の各理事、松野 彰 監事

欠席者：亀山香織 理事、柴田洋孝 監事、長村義之 顧問

議 題：I 評議員会・総会と共通の議題

<審議事項>

1. 会則一部改訂の件-----島津（庶務）
*理事長推薦理事の資格要件を明記
 2. 2014年度決算及び監査報告の件-----方波見（財務）・屋代（前会長）・松野（監事）
 3. 2015年度見込み及び2016年度予算案の件-----方波見（財務）
 4. 次次次期（第22回、2018年度）学術総会会長候補者の件-----理事長
 5. 名誉会員推薦の件-----理事長
 6. 功労評議員推薦の件-----理事長
 7. 新評議員推薦の件-----理事長
- <報告事項>
8. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件-----理事長
 9. 第19回学術総会研究賞及びトラベルグラントの件-----戸田（会長）
 - 1)研究賞選考委員
 - 2)研究賞受賞者
 10. 第20回（2016年度）学術総会の概要-----松野（次年度会長）

II 理事会のみの議題

<審議事項>

11. 学会名称変更の件-----理事長・成瀬
- <報告事項>
12. 新規事業の件-----理事長・副理事長・屋代（広報）
*日本病理学会（仙台）における内分泌病理教育コースの概要
*同じく、市民公開講座について
*他学会との連携（下垂体研究会ハワイ大会）
 13. 第90回（2017年度、赤水会長）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会への
プログラム提案募集について-----方波見（P委員）
 14. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて-----島津
 15. コンサルテーションの現状について-----亀山（C委員長）
- <その他>
16. 第92回日本内分泌学会学術総会会長候補者ノミネーションの件-----理事長
 17. 利益相反自己申告書および利益相反委員長の件-----理事長

冒頭、山田理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

I 評議員会・総会と共通の議題

<審議事項>

1. 会則一部改訂の件

・島津庶務理事より、前回4月の理事会で承認された下表の理事長推薦理事の資格明記を評議員会・総会に諮ることを確認した。

改訂	現行
定款第12条： 第1項は変更なし 2. 理事長は必要に応じて、 <u>原則として評議員から</u> 若干名の理事を推薦することができるが、理事長推薦による理事は3名を越えないものとする。	定款第12条： 理事は、評議員の投票または理事長の推薦により評議員会及び総会の承認を得て選任する。 2. 理事長は必要に応じて若干名の理事を推薦することができるが、理事長推薦による理事は3名を越えないものとする。

2. 2014年度決算及び監査報告の件

・方波見財務理事より、一般会計の収入の部において、亀谷徹先生より亀谷賞基金の寄付、帝人ファーマより学会運営全般を目的とする寄付、第18回屋代会長からの学術集会繰入金などにより予算額を上回ったこと、一方、支出の部では予算を若干下回ったため、当期収支差額は、1,995,300円の黒字決算となったことが報告された。また、用途限定金を差し引いた純繰越金は3,304,268円で前年より847,628円増加したと説明された。

・第18回屋代会長から、約300万円規模の学会になったこと、源泉税を納入したこと、一般会計繰越金を入金したことなどが報告された。

・引き続き、松野監事から、上記2件について柴田監事と監査を行った結果、2014年度決算は適正に執行されているとの監査報告があり、審議の結果、2014年度決算は全会一致で承認された。

3. 2015年度見込み及び2016年度予算案の件

・方波見理事より、2015年度見込みに関し、収入の部において、イーライリリー社より、「内分泌病理学の普及と若手研究者、臨床医の育成」を目的とする寄付があったことから、支出の部におけるトラベルgrant支給や人件費の増額にもかかわらず、当期収支差額は、224,650円の黒字決算を見込むこと、また、純繰越金は3,608,918円で、前年より304,650円の増加を見込むことが報告された。

・引き続き、同理事から、2016年度予算案に関し、収入の部の会費収入は2015年度見込を踏まえて予算を計上したこと、支出の部も2015年度見込を参考に計上した結果、当期収支差額は、マイナス38,350円で若干の赤字の予算となる旨説明があった。

・上記2件について審議の結果、これらは全会一致で承認された。

4. 次次次期（第22回、2018年度）学術総会会長候補者の件

・山田理事長より、吉本勝彦理事を次々々期会長に推挙したいとの提案があり、これを全会一致で承認し、評議員会・総会に推薦することとした。同理事もこれを受諾した。

5. 名誉会員推薦の件

・山田理事長より、資格要件を満たす者なしとの説明があった。

6. 功労評議員推薦の件

・山田理事長より、資格要件を満たす下記2名を評議員会・総会に推薦したいと提案され、全会一致で承認された。

- ・山口 建 評議員（静岡県立静岡がんセンター）
- ・片上秀喜 評議員（帝京大学ちば総合医療センター）

7. 新評議員推薦の件

・申請のあった下記2名について審議の結果、全会一致で評議員会・総会に推薦することが承認された。

- ・岡本高宏 理事（東京女子医科大学）
- ・井下尚子 会員（虎の門病院）

<報告事項>

8. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

・山田理事長より、4月理事会で承認・決定された下記の各受賞者を評議員会・総会に報告することを確認した。なお、特別功労賞の推薦はなかった。

（1）佐野賞：1名

- ・井下尚子（虎の門病院）

テーマ：臨床的非機能性下垂体腫瘍の新たな組織分類の検討

（2）亀谷賞：1名

- ・笠島敦子（東北大学）

テーマ：膵消化管神経内分泌腫瘍の臨床病理学的予後因子と新規バイオマーカーの検索

9. 第19回学術総会研究賞及びトラベルグラントの件

・戸田会長より、前回4月理事会で承認された選考委員3名及びその下で選ばれた受賞者について下記の報告があり、評議員会・総会に報告することを確認した。なお、研究賞応募者は8名であった。

（1）研究賞選考委員

- ・委員長（=会長）：戸田修二
- ・委員（順不同）：山田正三、屋代 隆、松野 彰

(2) 研究賞受賞者

①最優秀賞

・石井 順

(杏林大学 医学部 病理学教室)

「PROX1 は甲状腺髄様癌の内分泌顆粒形成に関与する」

②奨励賞

・Yuqian Luo

(帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科)

「サイログロブリンによる甲状腺機能遺伝子発現抑制に flotillin 脂質ラフトが関与する」

・小野 美澄

(東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科)

「Aldosterone 産生腺腫の CYP11B1, CYP11B2, HSD3B1, HSD3B2 発現における免疫組織化学的検討と遺伝子解析」

・また、これとは別個に学生会員筆頭演者 5 名に対し、総額 20 万円のトラベルグラントを支給したことが報告された。

・表彰制度に関連して、屋代広報理事より、賞内規にある略称英文名は、

「〇〇 of Japan Endocrine Pathology Society」に変更すること、また表彰状にも英文名を追加することが提案され、全会一致で了承された。

10. 第 20 回 (2016 年度) 学術総会の概要

・松野次期会長より、下記の概要及び日程・会場が変更になったことの事情説明があり、了承された。

日程：2016 年 9 月 16 日 (金) ～17 日 (土)

場所：帝京大学板橋キャンパス大学棟

9 月 15 日 (木) 夕刻より 理事会

9 月 16 日 (金) 学会、夕刻より会員懇親会

9 月 17 日 (土) 学会

日本神経内分泌学会との合同シンポジウムを学会期間中に開催

II 理事会のみの議題

<審議事項>

11. 学会名称変更の件

・山田理事長より、前回 4 月の理事会以降に役員から寄せられた賛否両論の紹介があり、次いで意見交換の結果、「日本臨床内分泌病理学会」に変更すること、英文名及びロゴマークは現行のままとすることとし、臨時総会に提案することになった。また、変更が決定された場合は、日本内分泌学会の承認手続きが要ることを確認した。

<報告事項>

12. 新規事業の件

・笹野副理事長より、2016 年 5 月 12 日～14 日の日本病理学会 (仙台) における「初心者

のための内分泌病理学教育セミナー」(共催)の具体的内容が紹介され、プログラムの座長・講師として協力することが了承された。また、本セミナーへの参加は事前登録制とし、参加登録受付、非会員チェック、入会の働きかけ等の事務作業については、会長校と事務局で検討することになった。

・同副理事長より、5月14日の日本病理学会市民公開講座「被曝と甲状腺」について後援依頼があり、これを了承した。

・屋代理事より、International Symposium on the Pituitary Gland and Its Related Systems (September 1st - 5th, 2016)の紹介があり、当学会のシンポジウムも開催されること、長村顧問にオーガナイザーをお願いするとの説明があった。

13. 第90回(2017年度、赤水会長)日本内分泌学会学術総会プログラム委員会へのプログラム提案募集について

方波見理事から、募集中の現状報告と今後用にさらなる提案の要請があった。

14. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて

・島津理事より、会員数(9月末日現在292名)および3年間会費未納者(14名)についての説明があり、後者に関し役員から会費納入の働きかけを行うこととした。

15. コンサルテーションの現状について

・山田理事長より、2015年の依頼受理は3件であることが報告された。
・コンサルテーション委員長に近藤理事が就任することとし、ホームページ掲載の運用規程の免責事項を必要に応じて見直すことになった。

<その他>

16. 第92回日本内分泌学会学術総会会長候補者ノミネーションの件

・山田理事長より、9月の持ち回り理事会において、当学会として笹野副理事長をノミネーションすることが承認されたとの、報告があった。

17. 利益相反自己申告書および利益相反委員長の件

・今年度から役員及び学術総会会長を対象に自己申告書を提出することになった。また、利益相反委員長に田辺理事が就任することとした。

以上

(記録：事務局・岸、理事長・副理事長・筆頭理事・会長校閲済)